

みどりの風

CONTENTS

熊本地震

肝属郡医師会立病院 JMAT隊
災害医療支援活動報告

新人看護職員研修／新入職員の紹介

看護の日イベント／職場体験学習

スポーツインフォメーション／部活動紹介／みなみかぜ便り

錦江町神川海岸「愛逢の地」

病院理念

地域住民の健康管理のために
地域医療の質と医療人の質の
たゆまぬ向上を目指す。

基本方針

- 一、医療・保健・介護・福祉・行政機関相互の連携を図り、地域住民に信頼される病院を目指します。
- 一、職員一人ひとりが経営意識を持って、安心・安全な医療を提供し、経営改善に努めます。
- 一、医療人としての責任と使命を自覚し、常に自己啓発に努めます。
- 一、多職種協働による、チーム医療と組織横断的活動を推進します。

患者さまの権利

1. 患者さまは、一人の人間として尊重され、平等に安全で適切な医療を受ける権利があります。
2. 患者さまは、十分な説明と情報提供を受けたいうえで、治療方法などをご自身の意思で選択する権利があります。
3. 患者さまは、個人情報の秘密が守られ、プライバシーが保護される権利があります。
4. 患者さまは、ご自身の診療記録の開示を求める権利があります。

患者さまの責務

1. 患者さまは、ご自身の健康状態に関する情報をできるだけ正確に医療提供者へ伝える責務があります。
2. 患者さまは、医療関係者と合意した検査や治療方針に対し、意欲を持って取り組む責務があります。
3. 患者さまは、他の患者さまが快適な環境で医療を受けられるよう、病院や社会生活上のルールやマナーを守る責務があります。
4. 患者さまは、検査や治療のために必要な医療費を負担する責務があります。

肝属郡医師会立病院 JMAT隊 災害医療支援活動 概要

活動期間	2016年4月27日(水)~29日(金)
メンバー	<ul style="list-style-type: none"> ● 医師 西田 卓爾(管理担当副院長 外科) ● 看護師 久保 桂子(看護師長) ● 看護師 寺師 明美(災害支援ナース) ● 事務調整員 坂上 陽一(地域医療室 社会福祉士)
主な活動地	熊本市西区

鹿児島県医師会より要請を受け、今回4名の職員が災害医療支援活動に参加した。事前準備では災害医療支援の医薬品、物資を車両に積み込み、当日を迎え、出発日の朝はあいにくの雨であったが、九州自動車道を御船インターで降り、本部である熊本市西区役所に向かった。

活動
開始

支援活動 1日目

14時よりJMAT隊災害拠点支部である熊本西区役所において、前任JMAT隊(南風病院チーム)からの引き継ぎを受け、早速避難所である古庄民館(昼21名、夜32名避難)に向かった。公園内にある公民館では、21名避難生活をされており、巡回時はほぼ全員横になっていたが、巡回診療の旨を説明し、血圧測定を始める。統合失調症にて治療中の方がおり、付き添いの母親より「集団生活で落ち着きがない。時々大声を出したり、公園内を走り回ったりする。他の方々にも迷惑をかけている」との主訴があり、看護師による20分間のマッサージ(副交感神経)を行ったところ気持ちも落ち着かれ、横になられた。本避難所による活動を終え、城西小学校避難所(昼60名、夜50名避難)へ移動。訪問時には熊本市役所職員が常駐されており、体育館の避難者を巡回したが傷病者はいなかった。本日より段ボールによるパーテーションが設置され、避難者からは安堵の声が聞かれた。ライフラインは飲料水・電気は復旧、トイレ衛生状態も良好であり、比較的状況は安定していた。避難者の診察、エコミークラス症候群のチェック等を行い、2カ所の避難所による活動を終え、熊本市西区本部へ移動し、巡回について報告した。本部より他の避難所においてはエコミークラス症候群を疑う事案がいくつか発生しているとの情報を受け、再度城西小学校を訪問し、弾性ストッキングを担当者へ預けた。

支援活動 2日目

午前10時より城西小学校避難所(昼60名、夜50名避難)へ向かった。昨日同様に体育館内の避難者へ声かけを行い、血圧測定や腰痛を訴えた高齢者へ看護師によるマッサージを行った。本避難所では中学生がボランティア活動を行っており、かつキーパーソンも高校生であった。5月9日より学校が始まる予定であり、体育館内の避難者も徐々に減っており、本避難所での活動を終え、熊本かがやきの森支援学校体育館避難所(昼51名、夜60名避難)へ移動した。市役所職員へ傷病者の確認をしたところ、右肩骨折の高齢者が1名おり、声かけを行った。避難者のほとんどは余震が心配で自宅へ帰ることに不安を覚えていた。本避難所での活動を終え、千原台高等学校体育館避難所(昼50名、夜60名避難)へ移動。市役所職員へ確認したところ、インフルエンザB罹患者が2名おり発症3日目であった。医師より病状確認を行ったが、回復傾向にあり、罹患者も軽快方向とのことだった。

AT隊 災害医療支援活動報告



1日目／城西小学校避難所



2日目／車中生活者へ問診



3日目／避難所巡回訪問

支援活動 3日目

引き
継ぎ

午前9時よりアクアドームくまもと避難所（昼190名、夜320名）へ向かった。昨日までの巡回診療とは異なり、救護室での受診者対応が主な業務であった。DPAT対象者もいたが、元々介入されており、診察中にDPATが来室され、依頼した。救護室での診療を終え、13時より次のチームである鹿児島市医師会病院へ引き継ぎを行い、JMAT隊としての活動を終了した。



DPAT医師と患者相談

※2/DPAT



活動を通しての感想

今回の熊本地震では、4月14日夜の前震(M6.5)により被災し、復興に向けてこれからどのように困難を克服していくか、気を張って頑張っていたところに、16日未明に本震(M7.3)に襲われ、更に深刻な地震被害を受けた方々が数多くいた。避難者の多くは余震が心配で学校体育館へ避難している方や、家屋内の片付けに目処が経たず避難されているとのこと、今後は家屋内の片付け、清掃等を目的としたボランティア活動の必要性や一般的な医療支援活動に加えて、被災者への精神的ケアを継続して行っていくことが重要であると感じた。

※1 JMATとは?

日本医師会災害医療チーム(Japan Medical Association Team、JMAT)は、日本医師会により組織される災害医療チーム、およびその枠組み。急性期の災害医療を担当するDMATが3日程度で撤退するのと入れ替わるようにして被災地の支援に入り、現地の医療体制が回復するまでの間、地域医療を支えるための組織である。

※2 DPATとは?

災害派遣精神医療チーム(Disaster Psychiatric Assistance Team、DPAT)とは、大規模災害などで被災した精神科病院の患者への対応や、被災者のPTSD(Post-traumatic Stress Disorder、心的外傷後ストレス障害)を初めとする精神疾患発症の予防などを支援する専門チームである。

新人看護職員研修

TRAINING
FOR
NEWCOMERS

平成28年度は新人看護職員2名が入職しました。毎年新人看護職員を迎えるにあたって看護部はもちろん看護部以外のスタッフ、みんなが新人看護職員に関心を持ち、みんなで育てるという気持ちで支えています。2カ月が過ぎ不安一杯だった頃から出来ることが1つずつ増え喜びに変わってきていると思います。3カ月、6ヶ月と色々覚えることも増え、大変な時期もあると思いますが、そんな時、同期の仲間との支えあい、看護師を目指した原点に立ち戻って強い気持ちをもってほしいと思います。

当院のめざす看護師像は「専門職としての優しさ・知識・技術を持った看護師」です。それに向かって先輩看護師と共に歩みましょう。



入職して2ヶ月たって

4階病棟 福元 沙紀

入職して2ヶ月がたち、入職当初は毎日緊張しながら通勤していましたが、少しずつ慣れ毎日が楽しく充実した日々を過ごせています。4階病棟に配属となり、不安なことがたくさんありましたが、スタッフのみなさんが優しく丁寧に教えてくださり、少しずつ1人でできることも増えてきました。今までは実習生として患者さまと1対1で関わってききましたが、今はチームの患者さま全てと関わることが新鮮で、それがとても楽しく、嬉しいです。

また入職してすぐに参加した新人同士での採血演習を行った時は、いよいよ看護師になるんだという気持ちが高まりました。採血練習もたくさんのスタッフの方々が腕を貸してくださり、採血テストに無事合格することができました。まだ入職して2ヶ月ですが、いろいろな処置がある際に、見学や声かけでチームを越え、病棟全体で新人を支えているのだと感じ、本当に感謝しています。

まだまだ未熟な私ですが、病棟スタッフのみなさんの力になれるように日々努力し、たくさんのことを学び自分のものにして頑張っていきたいと思います。

入職して2ヶ月が過ぎて

3階病棟 猿山 望美

就職して2ヶ月が過ぎました。慣れない病院、慣れない一人暮らしの生活でこの2ヶ月が本当にあつという間でした。学生の頃とは全く違って、情報収集は限られた時間で患者さまの病状を理解しなければならず、最初の頃は必要な情報も拾えませんでした。少しずつポイントをおさえて情報収集できるようになりました。

毎日、患者さまを3~4名受け持たせて頂いていますが、個人の業務をこなしつつ、チームの動きにも参加していくことがとても難しく、優先順位を考えて動く大変さを実感しています。しかし、忙しい中先輩方が細かく丁寧に教えて下さいます。

少しでも早く一人で行動できるように振り返りを怠らず、出来ることは実践していきたいです。こんな私でも「ありがとう」と言ってくれる患者さまの言葉を胸に、これから頑張っていきます。

看護の日

International Nurses Day

毎年5月12日は
『看護の日』です

イベントを
開催しました!



「看護の日」は近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ、毎年「5月12日」をその日として、平成2年に定められました。全国各地で「看護の心」の普及啓発活動として、様々な記念事業が実施されます。当院でも毎年看護の日イベントを開催しております。

今年度も5月12日(木)外来受付ホールで看護の日イベントを開催しました。診療待ちの患者様で比較的混雑する中、診療が済まれた患者様・ご家族・御面会の方々に、ご参加頂きました。

看護の日 イベント 活動内容

ポスター掲示 (胃瘻管理・誤嚥防止のために注意すること・認知症外来の案内等)

健康チェック (血圧・血糖・体脂肪)

手洗い体験

記念品の提供

2時間という短時間ではありましたが、思いがけず、多くの方々にご参加いただきありがとうございました。また、参加された方には血圧手帳・サージカルマスク・バルーンで作成した花の記念品を提供させて頂き、好評を得ました。これからも地域の皆様のご要望に応えられるよう、職員一同努力してまいります。

(看護部)

職場体験学習

● 錦江町立錦江中学校 ● 南大隅町立第一佐多中学校

5月下旬、錦江中学校より5名、第一佐多中学校より3名の生徒さんが当院職場体験学習を行いました。どの生徒さんも礼儀正しく、一生懸命取り組まれていました。今後医療の道を選ばれ、将来当院スタッフとして共に地域のために働くことができれば、こんなに嬉しいことはありません。後日、御礼を兼ねた感想文を頂きましたので、ご紹介させていただきます。



さわやかな初夏の季節となりました。皆様元気に過ごされていることかと思えます。私も元気に学校生活を送っています。さて、先日は大変お忙しいところ職場体験学習をさせて頂き、本当にありがとうございました。職場体験を通して看護師さんたちの大変さがわかりました。1日目と3日目は患者さんの血圧や体温を測るなどして3日目にはしっかり仕事内容を覚えることができました。2日目は患者さんをお風呂に入れる体験をさせて頂きました。外の担当をされていてベッドの移動やシーツ替えを主にしました。行ったり来たりの日々でした。看護師さんは命を助ける大事な役目があるので、体験してみて「命を助けるって大変だな」と思いましたが、患者さんの体調や様子にしっかり対応しているところを見てとてもすごいと思いました。職場体験を通して学んだことを活かして、これからの進路に役立てたいと思います。医師会立病院の職員の皆様のご健康をお祈りし、職場体験の御礼とさせていただきます。

錦江町立錦江中学校 松山 萌香

※一部割愛あり・紙面の都合で1名掲載させていただきます



SPORTS INFORMATION



スポーツを通して地域のみなさんとの交流と、自身の健康・体力作り、チームワークも高まります!

第39回 肝属地区危険物安全協会親善 ソフトボール大会



練習の成果は?!

6月5日(日)、標記大会に肝属郡医師会立病院ソフトボール部で今回初めて参加しました。スローピッチというルールがあり、なかなか点数をとることが出来ませんでした。予選リーグで2試合とも負けてしまいましたが、楽しく元気よくプレーすることができました。来年は勝てるように練習していきたいと思います。応援を頂き、ありがとうございました。



チームワークを発揮できました!

親睦会 ミニバレーボール大会



歓声あがる熱戦!!

6月18日(土)、親睦会ミニバレーボール大会が錦江町中央公民館で行われました。約100名の参加があり、親睦会会長・芥川氏の爆笑スピーチから始まり、12チームが優勝を目指し、熱戦を繰り広げました。約2時間にわたる激闘の末、

👑 優勝 3階病棟A 🏆 2位 薬局 🏆 3位 みなみかぜ

3階病棟Aが圧倒的な強さで優勝をかざりました。1年に1度の大会、みなさん and 和気藹々とプレイされ、体を動かしストレスを発散できたのではないのでしょうか。夜はそれぞれ反省会をしたところもあったようです。また来年が楽しみです。

医師会立病院 フットサル部

FUTSAL



医師会立病院フットサル部は毎週金曜日に南大隅町体育館にて練習しています。平成27年に発足し早くも1年が過ぎました。フットサルが実施できる場所探しから始まり、メンバー勧誘、道具集め等しっかりと練習の形になるまでに時間を要しましたがなんとか形になってきました。

練習を重ね、5月29日(日)に当部初の大会出場を果たし、また大会当日は初の試合参加ということもあり緊張感に包まれながらもなんとか記念すべき初勝利をあげることができました。上位入賞とはいきませんでした。大会を通し、体力強化をしなければならないという課題が見つかりました。まずは病院近くの浜辺ダッシュをトレーニングメニューに追加したいと思います。次回の大会は今大会の結果以上のものが出せるよう努力し第三者による厳しい目で見られても動じることがないように精進していきたいです。

メンバーが集まり
毎週金曜日
汗を流しています!



デイケア こいのぼり壁画

5月5日(木・祝)は端午の節句という事で、デイケアでは本を参考に【滝を昇るこいのぼり】の壁画を貼り絵で作成しました。利用者様にも協力をいただきながら、出来上がりを楽しみに一枚一枚丁寧に折り紙を貼りました。完成した作品は皆様の思いがこもった、とても素敵な作品になりました。

皆様は、「鯉の滝昇り」をご存知でしょうか？中国の黄河上流にある「竜門の滝」という急流を昇りきった鯉が、天まで昇って龍になったという伝説です。このことから、子どもたちの健やかな成長と大成を願って端午の節句にこいのぼりが飾られるようになったといわれています。

本来、子どもの成長をお祝いする行事ではありますが、この縁起物のこいのぼりにあやかり、利用者の皆様に多くの幸せが訪れることを願っております。



5月24日(火)に毎年実施している防火訓練を行いました。毎年行ってはいるものの、訓練という通常とは違う雰囲気緊張感が漂い、不安に押しつぶされないように一生懸命訓練を行いました。

今回の訓練は、昼間想定ということで日勤スタッフが多い中での訓練を行ないました。火元を発見してから初期消火に入り、いかに迅速に避難が出来るかが重点とされる中で、声かけ・連携がとても重要だと思知らされました。消防の立会いのもと行いましたがとても良かったとお褒めの言葉をいただきました。しかし、個人個人で反省すべき点はいくつもあり訓練を重ねる中で、実際に火事が起きて冷静に利用者様の誘導を迅速に行えるように日々精進していく必要があると改めて感じさせられる避難訓練でした。

すみれ通り

5月9日(月)に毎年恒例のあくまき作りを実施しました。ゆり通り、チューリップ通りの各ユニットからも数名の参加がありました。



最初はあまり興味を示さなかった利用者様も竹皮と餅米を目の前に自然と手が動いて竹皮に餅米を包んだり、細く裂いてあくまきを縛るひもを作られていました。昔は家族が多くて3升、多い人は8升と皆で1日かかりで作っていたと話をされたり、昔をなつかしみながら楽しいあくまき作りができました。

おやつには皆で作ったあくまきが出され、きなこに砂糖を混ぜて美味しくいただきました。醤油で食べてもおいしいそうです。



楽しく学び元気で
長生きしましょう



昨年からの取り組みで、通所リハの利用者様を対象に月一回月末に栄養講話を実施しています。参加者は毎回10名前後で、季節の話題や健康情報などを約20分程お話しています。

まず3度の食事をしっかり食べる事。そして、しっかり水分を摂取すること。食べたら無理のない程度で体を動かすことを毎回話しています。利用者様から「○○を食べると長生きするとテレビでみたけど…？」等の質問もあります。いろいろな健康法や昔から地域で食べていた料理や食材などの話もあり、私達自身も勉強になります。「食べて、飲んで、動く」この言葉を利用者様と一緒に毎回復唱しています。

食べることは元気で長生きするためにとっても大切ですが、それがなかなか思うように食べられていないことにびっくりすることもあります。毎月1回の栄養講話を楽しく学ぶ時間としてこれからも継続していきたいと思います。

外来受診に関するお知らせ

完全紹介予約制

当院の外来は「完全紹介予約制」となっております。初診の方は、他の医療機関(かかりつけ医)などからの紹介状が必要となります。また受診の際は、事前に予約をお取りください。

※泌尿器科、整形外科、眼科は「かかりつけ医」がない場合は予約のみで受診できます。

予約に関する電話受付時間

月～金曜日 午後2時～ 5時

土曜日 午前9時～12時

生活習慣病予防&改善相談

- 受付:** 地域医療室(売店となり)にて
内容: 血圧測定・体脂肪率測定・血液検査(希望者)(食事を摂られてもかまいません)管理栄養士、保健師による病気予防と改善のためのアドバイス
費用: 無料ですが、血液検査を希望の方は血糖・150円、脂質(コレステロール、中性脂肪)・300円をご負担いただきます。
対象者: どなたでもお気軽にお越しください。

高脂血症・糖尿病

8/20(土) 9/17(土) 10/15(土)

いずれの日も10時より

栄養士、保健師による病気予防と改善のためのアドバイス

個人フォローアップ健診

生活習慣病の予防には生活改善のバロメーターとして定期的な健診が大切です

- 期間:** 申込日より6ヶ月
頻度: 1ヶ月、2ヶ月毎に実施
項目: 糖尿病、高脂血症
内容: 血液検査や体脂肪率測定、結果説明、健康アドバイス等
費用: 糖尿病900円/回 高脂血症500円/回

受診対象: 一般、地域住民の皆様

受診受付: 当院 地域医療室

担当: 保健師まで **TEL.0994-22-3111**

病院稼働状況

	5月	4~5月	月平均
外来患者延数	2,153	4,344	2,172
(1日平均)	69.5	71.2	—
新入院患者数	67	130	65
退院患者数	66	137	69
月末在院患者数	162	323	162
在院患者延数	5,127	10,081	5,041
(1日平均)	165.4	165.3	—
平均在院日数(一般病棟)	21	20	—

編集後記

4月16日に熊本地震が発生し当院からもJMATで4人のスタッフが参加しました。その活動内容を聞くことで、震災にあわれた方々の状況を知ることができ、また、防災への取り組み、備えが必要であると痛感した次第です。

いよいよ暑い夏の始まりです。この暑い季節を乗り切るための、健康管理には十分気を配りたいものです。

職員募集

常勤医師【募集診療科】

内科(一般、呼吸器、循環器、消化器、リハビリ)外科・整形外科・眼科

看護師・看護補助者(パート可)・理学療法士・作業療法士
施設管理・薬剤師・調理師・臨床工学技士

詳細については総務課庶務係までご連絡ください

TEL.0994-22-3111(内線:1134)

シンボルマークについて



地域住民の皆様と地域の医療従事者を、平和と安寧の象徴である二羽の鳩で表し、共に協力しながら空高く飛翔するさまをデザイン。

肝属郡医師会立病院の頭文字をエンドレスイメージでデザインしたKマークは、地域医療の中核病院として地域医療を支え健やかで暮らしやすい地域づくりを目指して永遠に伸びゆくさまを表しています。